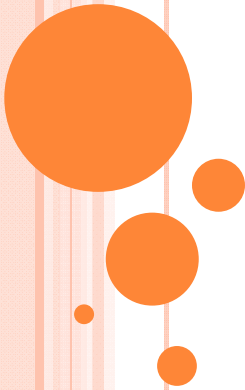


第101回 ISO理事会

2016年9月11日 北京 CNCC



2016年10月18日

日本規格協会 若井博雄

JISC representative to ISO Council

— 目次 —

1. ISO 概況
2. 規格開発
3. 開発・販売政策
4. ガバナンス事項

1. ISO 概況

構成員、加盟国数

会長委員会： 中国（会長）、カナダ（政策）、オーストリー（技術）、フランス（財務）、スイス（財務官）、カナダ（事務局長代理）	
戦略常設委員会（SPC）： 米国、仏蘭西、新嘉坡、墨西哥、スロベニア、ノルウェー、日本、ボツワナ、マセドニア、伊太利	財務常設委員会（FIN）： 英吉利、独逸、露西亞、丁抹、チェコ、南アフリカ、中国、韓国、土耳其、ボツワナ

© ISO/JSA 2016

2

経営状況：収支

	Budget 2017	Forecast 2016-6+6	Budget 2016	Actual 2015
REVENUE				
Membership fees	20 376	21 030	21 068	21 146
Royalties received from members selling ISO Standards	10 288	10 287	9 095	8 598
Direct sales	8 350	9 401	5 980	8 542
Net sales revenues	3 690	4 465	3 522	5 623
Other revenue	4 803	3 445	3 565	3 029
TOTAL REVENUE	39 149	39 234	37 290	38 450
EXPENDITURE				
Personnel expenses	25 540	23 156	23 777	24 395
TOTAL EXPENDITURE	39 782	35 314	35 761	36 213
Operating surplus	-633	3 920	1 529	2 237

© ISO/JSA 2016

3

理事会決議 36/2016

(2017年中央事務局の予算)

理事会は

理事会文書33/2016に示された通りISO中央事務局の2017年の収入及び支出予算を承認する。

© ISO/JSA 2016

4

2. 規格開発に関する決議

理事会決議 26/2016

(サービス標準化)

理事会は

サービス標準化の重要性を強調し、サービス標準の役割(例えば、コンプライアンスまたは事業成績への取組み)の明確化の必要性を考慮し、新専門業務を導入する最優先の領域であるとして考えることをCSC/SPCとTMBに求める。

© ISO/JSA 2016

<ISO 総会 ブレイクアウトセッション: サービス>を説明

5

理事会決議 29/2016

(ISO特許ポリシーグループ)

理事会は

技術管理評議会(TMB)の配下にISO特許ポリシーグループを設立することを原則的に承認し、

理事会文書27/2016の附属書に添付された委任事項原案をもとに、このようなグループを設立することをTMBに求め、そして、理事会文書27/2016に含まれていたISO、IEC及びITU間の新しい協力への取組みを支持する。

© ISO/JSA 2016

6

理事会決議 30/2016

(ITを含む規格開発の将来環境のAHG)

理事会は

会議に出された報告に対して、ITを含む規格開発の将来環境を規定するためのアドホックタスクグループ(AHG)のメンバーに感謝し、

理事会文書28/2016の附属書1に示された通り、ISO規格開発プロセスとISO規格類の使用に関する2020年までに実施されるべき推奨事項を承認し、そして、

同推奨事項を実施するにあたり、CSC/SPCにCSC/FIN及びTMBと協議の上、理事会を指導することを求め、

理事会承認のために出されるISO IT戦略原案の推敲において、同推奨事項を考慮することをISO IT戦略のAHGにさらに求め、そして、

ITを含む規格開発の将来環境を規定するためのAHGの解散を即時発効として決定する。

© ISO/JSA 2016

7

<ISO IT 戦略のAHG>を説明

理事会決議 25/2016

(ISO戦略2016-2020の実施にあたっての指標)

理事会は

会議で出された以下のような問題点へのコメントを考慮し、
理事会文書 21/2016の5節に示された通りISO戦略2016-2020
の実施を監視するための指標を承認する。

- ISO規格類の専門的内容の質
- 規格の使用を評価するのに必要な市場調査
- ISO研修プログラムへの参加度合の監視

© ISO/JSA 2016

8

<ISO 総会 ブレイクアウトセッション:ハイインパクト規格>

1. Anti-bribery 対汚職
2. Sustainable procurement 持続的購買
3. Risk 31000 リスク
4. Food Safety 22000 食品安全
5. Energy 50001 エネルギー
6. OHSAS 労働安全衛生

© ISO/JSA 2016

9

3. 開発、販売政策に関する決議

理事会決議 31/2016

(ISO POCOSAと国家採用のAHG)

理事会は

理事会文書28/2016(追加版)で提供された情報に留意し、
理事会決議 9/2015で決定された現行の構成と委任事項のま
ま、例外的に現議長(Olivier Peyrat)のまま、理事会によりISO
POCOSAの新版が承認されるまで、POCOSAと国家採用の
AHGの業務は継続することに同意する。

© ISO/JSA 2016

10

理事会決議 28/2016

(SAEインターナショナルとのPSDO協力合意)

理事会は

会議で出たコメントに留意し、理事会文書 26/2016の附属書で
示されたとおり、SAEインターナショナルとのパートナー標準開
発機関(PSADO)協力合意を承認する。

© ISO/JSA 2016

11

理事会決議 35/2016

(ISOLutionsの業務範囲とリスク評価)

理事会は

理事会文書32/2016の附属書1及び2に含まれていた更新されたISOLutionsの業務範囲(財政モデルとリスク評価、緩和計画を含む)を、理事会決議 13/2016で要請されたとおり改訂されたことを考慮の上承認し、

会議で示された「ISOLution次の段階と時間枠」に同意し、そして、2016年北京のISO総会の期間、これらをISO会員に伝えるように事務総長代行に求める。

© ISO/JSA 2016

12

4. ガバナンスに関する決議

理事会決議 27/2016

(地域関与イニシアチブ)

理事会は

理事会文書 25/2016の附属書で示された通り理事会決議 19/2016にて承認されたビジネスプランを補完し、そして、目標1「意思疎通、協働作業、友好関係の促進」の指標1「会員の国家経済圏での規格使用増加」に以下の二件の付加的な方策を加えることを条件に、シンガポール地域関与イニシアチブ(REI)の成果を評価する主たる施策を承認し、

- 調達における規格の使用の促進と評価
- 規格売上げ収入の報告

地域のISO会員に過大な負荷を生じさせないようにある程度の融通性をもって、これらの施策を実施するように事務総長に求める。

© ISO/JSA 2016

13

理事会決議 33/2016

(Blandonnet施設への移転のISO/CSプロジェクト)

理事会は

2016年8月の会議でCSC/FINから成された勧告を考慮し、
継続的に関連情報の収集をして、さらなる行動を取る前に全
項目について全文報告書を理事会に送ることを事務総長に求
める。

© ISO/JSA 2016

14

理事会決議 38/2016

(2018年末までのDEVCO議長の任命)

理事会は、Mrs. Lena Dargham(レバノン)をDEVCO議長とし
て、例外的に即時発効とし2017-2018年の任期で任命する。

<事務局長選出委員会>を説明

© ISO/JSA 2016

15

理事会決議 32/2016

(ISO ガバナンス精査のAHG)

理事会は

理事会はその役割遂行のために諮問機関に支援されることは可能だが、その権限(及び説明責任)はそれら機関に委ねることはできないとするISOガバナンスにおける理事会の中心的役割に関するAHGOVからの提示を支持し、

会長委員会は理事会の諮問機関であり、理事会からの委任により、特定事項を精査し推奨事項を提示できるが、決定の行為または実施はできないことを明確にし、

現行のISO会則の条項8.3で求められている、会長委員会の理事会への報告に関する手順を2016年12月31日までに理事会承認ができるように作成することをAHGOVに要請し、

特にISO会則、施行規則及びそれらを補完する追加文書(例えば、理事会配下の機関への委任事項、ISO役員と理事会配下の機関の議長の人物紹介)の修正の必要性を示したAHGOV 文書 11/2016 に概説されたAHGOV 推奨事項とプロジェクト計画を支持し、

2017年総会に改訂版会則を提出できるように、完備したガバナンス文書一式を理事会承認のために適時の作成をAHGOVに要請し、

当機構にとって極めて重要な事項について、多くの関与と十分な周知が重要であることを考慮し、試行ベースで、特定の行動事項に特化した理事会(参考)電子会議を実施することをISO中央事務局に求め、そして、

AHGOVは2016年末までには業務は終わらないこと、本AHGに代表者を出している理事会メンバー 5 名が2016年末で理事会を去ること、そして、継続が必要であることを考慮し、

当AHGが業務を完了するまで、同じグループ構成を維持することを決定する。

<ISO ガバナンス委員会>を説明

© ISO/JSA 2016

16

5. 今回議論として取り上げない決議

理事会決議 34/2016

(ISO/CSの計画と成果の管理データベース: Panther Replacement)

理事会は

理事会文書31/2016の附属書に示されたプロジェクトの提案

「ISO/CSの計画と成果の管理データベース(Panther Replacement)」を承認し、そして、

本プロジェクトの実施期間中は、定期的にリスク状況まとめをCSC/FINに提出するよう事務総長に求める。

© ISO/JSA 2016

17

理事会決議 37/2016

(理事会配下の組織の2017年業務計画)

理事会は

CASCO業務計画の専門的部分は、TMB決議 96/2016により承認されていることに留意し、

理事会文書 34/2016の附属書1から7までのそれぞれに示されたCSC/FIN、CSC/SPC、会長委員会、TMB、CASCO、COPOLCO及びDEVCOの2017年業務計画を承認する。

© ISO/JSA 2016

18

理事会決議 39/2016

(TMB選出の順位付け基準)

理事会は

技術管理評議会(TMB)への選出／任命時の会員団体の優先順位付けに関し以下の基準を決定する。

- TC、SC及びPCの幹事国数:55 %ウエイト(スタンバイのTC/SC及び、指導される側の副幹事国は数えない)
- TC、SC及びPCでのPメンバー資格数:30 %ウエイト(Pメンバーの義務に関するISO/IEC専門業務指針の箇条1.7.5が厳格に適用されているという理解の下で)
- 支払ったユニット数:15 %ウエイト

© ISO/JSA 2016

19

理事会決議 40/2016

(2018年総会の日時と場所)

理事会は、オープンセッションを含めて2018年9月26日(水)から28日(金)まで、ジュネーブ(スイス)にて総会を開催することを決定する。

© ISO/JSA 2016

20

理事会決議 41/2016

(2018年理事会の日時と場所)

理事会は、2018年の会合を以下のとおり開催することを決定する。

- 3月22日～23日(木～金) ジュネーブにて
- 9月24日(月) 総会開催地にて

© ISO/JSA 2016

21

特別理事会決議 1/2016

(DEVCO議長 Dr. Laith Senaweeraへの感謝)

理事会は、発展途上国向け行動計画2016-2020の策定貢献を始めとして、戦略常設委員会(CSC/SPC)の一員としてISO理事会への参画を通して2013年12月から2016年7月に至るまでの間、DEVCO議長として貢献したDr. Laith Senaweera(スリランカ)に心からの感謝の意を表明する。

© ISO/JSA 2016

22

ご清聴ありがとうございました

お問合せ先：
kokusai3@jisa.or.jp

23